

産業振興の体制強化

1 目指す姿

目指す姿	産業を担うリーダーや人材が育ち、製造業・商業・観光業・農林業など全ての分野で業種を超えて広域的に結び付き、地域の経済活動が活発に行われています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

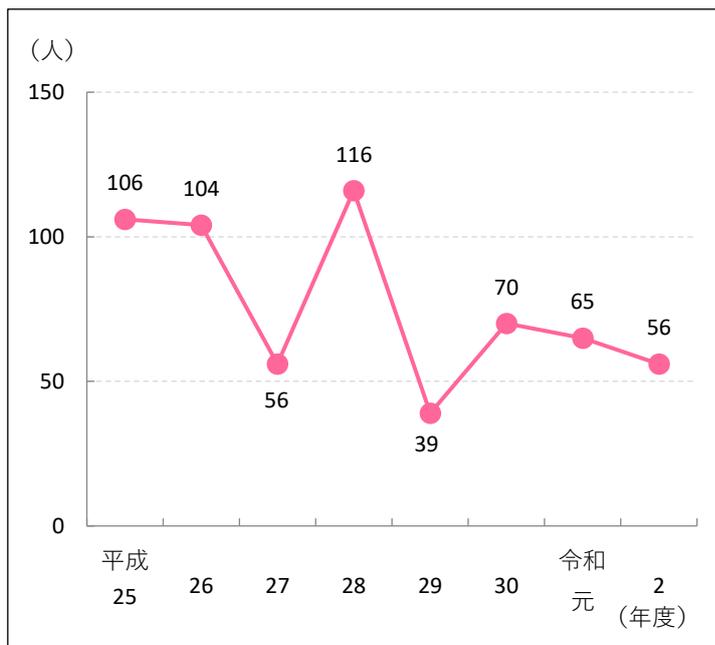
(1) 産業振興にかかわる機関との連携	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤地域産業振興推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩信用金庫との連携協定締結による産業支援強化(平成28年度) ・「八王子市産業振興会議」を設置・開催(平成28・29年度) <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度(2022年度)に現行の「産業振興マスタープラン」の計画期間終了に伴う、産業振興施策の新たな指針となる(仮称)産業イノベーションプランの策定及び新たなビジョンを目指した施策の展開 ・新型コロナウイルス感染症の影響により経済成長率の低下が見込まれるなかでの、国や東京都の支援策と連動した経済対策の実施、アフターコロナの経済成長に向けた仕掛けの検討 	
(2) 産学公連携の推進	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤産業界と大学等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業と大学のネットワーク構築を支援(平成28年度) ・産業支援機関等担当者連絡会議を開催(平成29～令和元年度) ・東京都立産業技術研究センターとの連携協定(平成30年度) <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係により築かれたネットワークの維持・強化 	
(3) 産業交流拠点の整備・促進と連携	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤産業交流拠点の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都立多摩産業交流センターに関する東京都産業労働局との連絡調整及び同局への要望 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年(2022年)秋に東京都立多摩産業交流センターが開業することを契機とした、MICE誘致の促進、産学連携を通じたイノベーションの創出 	
(4) 人材の発掘と育成	
<p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市商工会議所等との連携によるビジネスお助け隊が参画した人材育成講座の実施(平成25年度以前～) <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援側の人材の確保及び時代のニーズに対応するためのスキル・ノウハウの習得 	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	市内の産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	↑	25.1%	33.0%	40%	53.0
			(平成23年度)	(令和2年度)		
②	法人市民税の納税義務者数の伸び率	↑	市0.01 (全国0.01) (指数)	市0.01 (全国0.03) (指数)	全国の 伸び率を 上回る	-
			(平成28年度)	(令和元年度)		

■データ

「ビジネスお助け隊」相談件数



企業支援

1 目指す姿

目指す姿	社会状況の変化や企業のニーズを踏まえた支援により、多くの企業が立地しています。また、地域の産業を支える中小事業者が地域で活発に経済活動を営んでいます。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

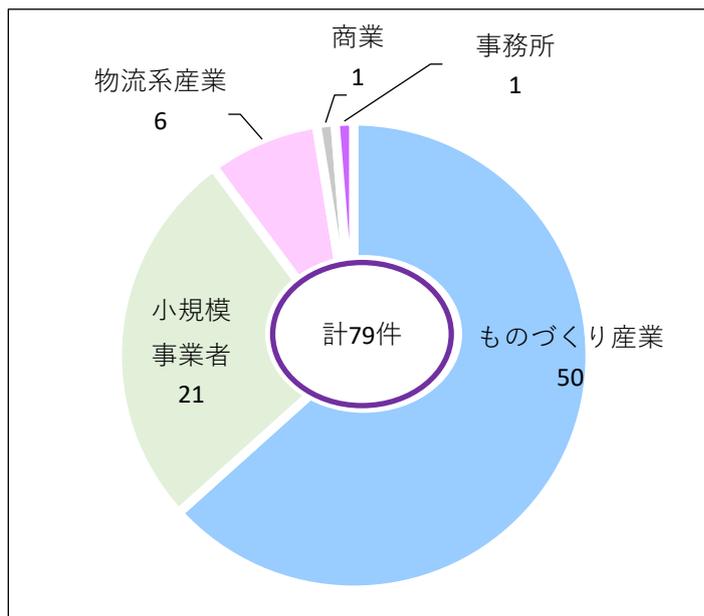
(1) 企業誘致の推進	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤企業立地の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いきいき企業支援条例」を「企業立地支援条例」に改正し、企業立地促進地域を拡大（平成26年度） 企業立地促進奨励金を目的別に整理し、市内企業立地継続奨励金を創設（平成29年度） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存用地の利用転換や拠点整備の進捗により生み出される事業用地の有効活用による、ヘルスケア産業、バイオテクノロジー産業など次世代を見据えた企業立地の促進 	
(2) 中小事業者支援	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤中小企業等の活性化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業の海外展開支援事業を開始（平成27年度～） ものづくり企業地域共生推進助成金を新設（平成31年度） 中小事業の事業承継支援事業を開始（令和2年度～） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と調和することで持続的な発展を希望する企業が地域と共生を図るための取組への支援 中小企業の事業承継や新事業創出に関する、国や都等も含む各種支援策の周知の継続 SDGs（持続可能な開発目標）やESG（※）への対応など新たな事業展開を支援するための制度の充実 <p>※ESG 環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取った言葉。企業の長期的な成長のためには、この3つの観点から長期的な事業機会や事業リスクを把握する必要があるという考え方が世界的に広まっている。</p>	
(3) 流通機能集積の推進	
<p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新滝山街道周辺地区や圏央道八王子西インターチェンジ周辺地区における、流通機能の集積のための誘致 	

3 施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	企業誘致制度により立地を支援した企業数	↑	60件 (累計) (平成23年度)	146件 (累計) (令和2年度)	145件 (累計)	101.2

■ データ

企業立地支援条例により支援した企業の業種内訳



※平成25～令和2年度までに支援した事業者の類型です。
(小規模事業者は平成26～28年度)

就労環境の整備

1 目指す姿

目指す姿	企業支援や新たな産業の創出などにより地域における雇用が生まれ、職住近接など働きやすい労働環境が整い、誰もが生き活きと安心して働いています。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

(1) 雇用・就労支援	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八王子しごと情報館」をハローワーク八王子と共同運営（平成25年度以前） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八王子しごと情報館」のあり方を検討 ・新たな政策課題（8050問題、生産年齢人口の減少等）に対応するための就労支援策の構築 	
(2) 若者などの雇用・就労促進	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤若者の就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職webサイト「はちおうじ就職ナビ」を運営開始（平成25年度以前） ・「若者奨励金」を創設（平成27年度） ・中小企業新入社員合同研修を開始（平成28年度～） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が市内事業者を知る機会を増やすため、Webサイト「はちおうじ就職ナビ」への登録事業者の掘り起こしを行うことによる、市内事業者と若者とのマッチング促進 	
(3) 労働環境の整備	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤中小企業職場環境づくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と仕事の両立支援事業を開始（平成25年度～） ・市内中小企業を対象にメンタルヘルスに関する実態調査を実施（平成27年度） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍やDX等の社会情勢の変化に伴う新たな働き方に則した労働環境の整備促進 	

3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	就職率	↑	22.3% (平成23年度)	19.7% (令和2年度)	33%	-
②	「はちおうじ就職ナビ」掲載の中小企業等に就職した若者への奨励金交付認定者数	↑	167人 (累計) (平成28年度)	479人 (累計) (令和2年度)	640人 (累計)	66.0

■ データ

生産年齢人口とハローワーク八王子管内の有効求人倍率



高度な技術の集積を活かした産業振興

1 目指す姿

目指す姿	高度な技術力を持つ多くの製造業や情報通信産業が地域経済を活性化させ、首都圏西部の産業・経済の拠点となっています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）製造業・情報通信産業の振興

<主な事業名・取組>

➤先端ものづくり支援

- ・産学連携による研究・開発費等補助金を創設（平成26年度）
- ・小規模企業産学連携促進補助金を創設（平成29年度）
- ・「新産業センター条例」を改正（平成31年度）

（新産業開発・交流センターをセレオ八王子北館へ移転、新産業創出センターを工学院大学八王子キャンパス内に設置）

<今後の課題>

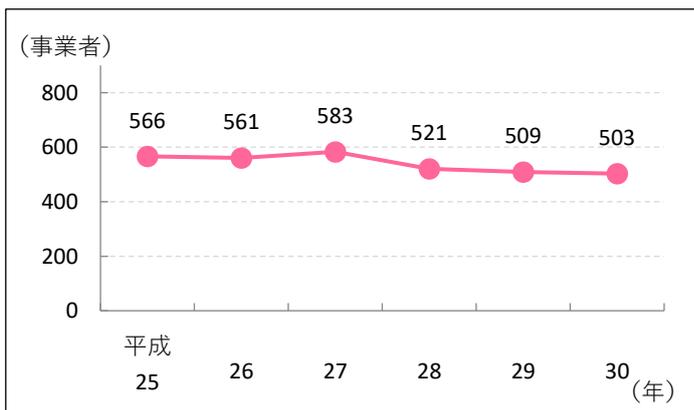
- ・企業が新たな事業分野を開拓する取組の継続支援
- ・国際的に製造業を取り巻く環境が大きく変化しているなか、DXの進展等IT分野への対応が必須となることから、新たな支援施策を検討
- ・製造業や情報通信産業をはじめとした多くの企業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少している状況下において、企業の事業継続支援及び地域経済の活性化推進のための施策を実施

3 施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
				令和4年度	
① 中小製造業の市内事業所数の伸び率	↑	市0.96 (全国0.95) (指数) (平成22年度)	市0.98 (全国0.98) (指数) (令和元年度)	全国の伸び率を0.03上回る	-

■ データ

製造業事業所数



新産業の創出

1 目指す姿

目指す姿	環境や医療・介護分野などの新たな事業に取り組む多様な事業者が本市に集まり、市内で様々な技術・製品が開発され、新たなサービスも生まれています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

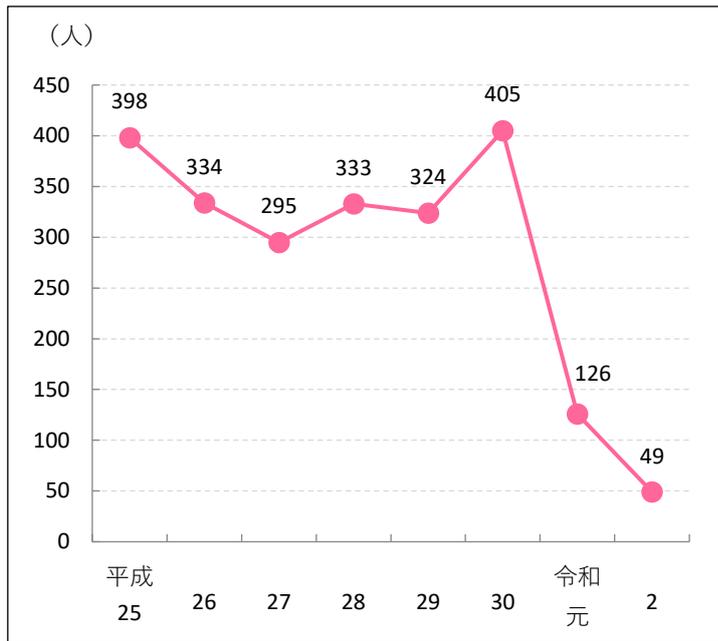
(1) 起業者・創業者支援	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤中小企業等の活性化支援、起業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本気の創業塾」をはじめとする創業支援を実施（平成25年度以前） ・創業支援のための「起業家応援プロジェクト」を設置（平成25年度以前） ・「創業支援等事業計画」を策定（平成26年度） ・特定創業支援事業として創業相談を実施（平成26年度～） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業希望者の要望に応える支援の継続提供 ・多様化する創業ニーズなどに対応するための外部リソース（東京都中小企業振興公社による創業支援サービス等）との連携・活用 	
(2) 新産業分野の事業創出支援	
<p><主な事業名・取組></p> <p>➤中小企業等の活性化支援、中小企業新商品開発認定制度の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業新商品開発認定制度を開始（平成26年度～） <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後ますます消費者の価値観やニーズが多様化・複雑化していくことが想定されるため、技術革新、SDGs、社会課題解決型産業などの新たな産業分野に対応した支援策の検討 	

3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
						令和4年度	
①	新設事業所数の伸び率	↑	市0.42 (都0.36) (指数) (平成21年度)	市0.58 (都0.59) (指数) (平成28年度)	都全体の伸び率を0.08上回る	-	
②	「本気の創業塾」卒業後の創業率（過去5年間平均）	↑	36.2% (平成28年度)	33.3% (令和2年度)	30%以上を維持	○	

■ データ

新産業開発・交流センターにおけるセミナー参加者数



にぎわいにつながる産業の振興

1 目指す姿

目指す姿	にぎわいを創出する観光産業や商業が活性化し、何度でも訪れたいまちとして中心市街地などが多くの人でにぎわい、まちが活気にあふれています。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）中心市街地活性化の推進

＜主な事業名・取組＞

➤MICEの推進、中心市街地の活性化、中心市街地の総合的な再生

- ・ 中心市街地における空き店舗改修費補助金を創設（平成25年度以前）
- ・ まちなか魅力づくり支援補助金を創設（平成27年度）
- ・ 八王子駅周辺にWi-Fi環境を整備（平成28年度）
- ・ 「中心市街地活性化基本計画」の認定（平成29年度）
- ・ 西放射線ユーロード景観舗装等整備工事の実施（平成30～令和2年度）
- ・ 八王子MICE事業者ネットワークを立上げ（令和元年度～）
- ・ まちなか休憩所八王子宿を開設（令和2年度～）

＜今後の課題＞

- ・ 「中心市街地活性化基本計画」に掲げる各事業を進めていくとともに、官民一体となった、まちの活性化
- ・ 東京都立多摩産業交流センターの令和4年度（2022年度）開業を契機とした、MICE事業者ネットワークの充実とともに、大学関係者、企業への営業活動の強化
- ・ 東京都立多摩産業交流センターの整備効果を高めるため、観光コンベンション協会との協働による、積極的なMICE誘致の推進

（2）商業の振興

＜主な事業名・取組＞

➤商店街の振興

- ・ 商店街が行う防犯カメラの設置に係る経費の一部を支援する補助金を創設（平成28年度）
- ・ 商店街賑わい復活補助金を創設（令和2年度）

＜今後の課題＞

- ・ 後継者不足やインターネットショッピングの普及など商店街が抱える課題についての検討
- ・ 魅力ある個店への支援等によるまちの賑わい

（3）観光地の魅力の向上

＜主な事業名・取組＞

➤観光資源情報の活用、一般観光の推進

- ・ 高尾の里拠点を整備（高尾599ミュージアムの開設）（平成27年度）
- ・ 滝山城跡等を活用した発信事業（フォトログイニング等）を実施（平成28年度）
- ・ インバウンド事業「高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会」を開始（平成29年度～）
- ・ 観光ガイドブックをリニューアル（「行こうよ、八王子」を発行）（令和2年度）

＜今後の課題＞

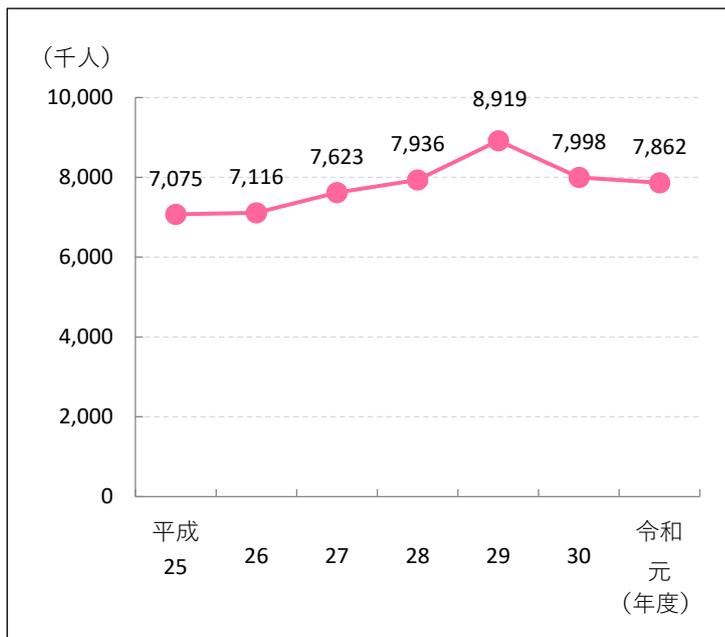
- ・ ポストコロナ時代を踏まえて、SNS等のコミュニケーションツールの活用とデジタルでの情報発信
- ・ 既存の観光スポットや日本遺産構成文化財を活かした、市内の滞留性及び回遊性につながる人流を生み出す観光施策の推進

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	年間商品販売額の伸び率	↑	市0.95 (全国0.86) (指数)	市1.07 (全国1.14) (指数)	全国の伸び率を0.01上回る	-
			(平成19年度)	(平成28年度)		
②	観光客数	↑	602 万人/年	786 万人/年	849 万人/年	-
			(平成23年度)	(令和元年度)		

■ データ

市内観光地への観光客数



地域資源を活用する産業の振興

1 目指す姿

目指す姿

地域資源の新たな魅力を活かすことで観光産業・農業・林業の振興がはかられています。また、農業の担い手の育成や農地の有効活用により、都市型農業が確立しています。そして、八王子ブランドの創出により、まちの魅力が高まっています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）新たな観光資源の発掘・活用

<主な事業名・取組>

➤新たな観光資源の整備

- ・ 加住地区(滝山城跡等)の観光を推進（平成25年度～）
- ・ 滝山城築城500周年記念事業のPR事業を実施（令和2年度）

<今後の課題>

- ・ 日本遺産認定ストーリー等新たな観光資源を活用した、コロナ禍においても実現可能な体験型観光やイベントの実施

（2）都市型農業環境の整備

<主な事業名・取組>

➤農業環境の整備、遊休農地活用支援

- ・ 農地バンク制度を開始（平成26年度～）
- ・ 「第3次農業振興計画」を策定（平成28年度）
- ・ 農地再生事業補助金を創設（平成28年度）
- ・ 都市農業活性化支援事業費補助金を創設（平成29年度）
- ・ 都市農地保全支援プロジェクト補助金を創設（平成30年度）
- ・ 「人・農地プラン」を策定（令和2年度）

<今後の課題>

- ・ 農業関係団体と連携し、東京都や市の補助制度及び認定農業者制度の周知
- ・ 農業者の高齢化に伴い、農地減少、遊休農地及び耕作放棄地の増加が懸念されるなかで、農福連携も含めた農業の担い手の育成や農地の有効活用

（3）林業の再生

<主な事業名・取組>

➤民有林振興

- ・ 多摩地域の林業再生に向けた現状調査及び多摩産材販路拡大を実施（平成28年度）
- ・ 経営管理されていない森林の調査・分析を実施（令和元年度）

<今後の課題>

- ・ 意欲のある林業事業者に対する、担い手育成支援等の実施

（4）地域ブランドの創出

<主な取組>

- ・ JA八王子農業祭において農林畜産物品評会を開催（平成25年度以前）
- ・ フードフェスティバル・体験学習フェスティバルの開催（平成25年度～）
（地場産農畜産物の周知、生産者の栽培技術向上及び品質向上）
- ・ 市ホームページに「パッションフルーツ」をPRするページを掲載（平成30年度）

<今後の課題>

- ・ ブランド創出につながる観光資源の発見や磨き上げ
- ・ 更なる地域の名産品の発掘や知名度向上のための情報発信

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	農業産出額	↑	27億9,000万円/年 (平成21年度)	25億4,000万円/年 (令和元年度)	29億300万円/年	-
②	認定農業者数	↑	106経営体 (平成28年度)	105経営体 (令和2年度)	130経営体	-

■ データ

農業産出額

